

授業科目名	プレゼン演習		科目コード	501												
開講クラス	国際ビジネス科	コース	ITビジネスコース 観光ビジネスコース	学年	2年											
担当教員																
	実務経験教員 (有)・無)															
開講時期 1コマ45分	前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	68コマ												
	(必須)・選択・選択必須		時間数	68時間												
使用 テキスト1	書名	「プレゼンテーション」基礎講座														
	著者	長沢朋哉														
	出版社	日本実業出版社														
使用 テキスト2	書名	学校でも会社でも教えてくれない企画・プレゼン超入門														
	著者															
	出版社	Discover														
参考図書																
授業形態	(講義)・演習・(実習)・実験・その他()															
<授業の目的・目標>																
就活時の面接で自己PRの向上、入社後企画提案などに支障の無いようなアイディアの出し方文書・資料作成を身に付ける。																
<授業の概要・授業方針>																
単元ごとにテキストに沿って説明、解説を行った後、課題へ取り組ませ、身に付けさせていく。																
<成績基準・評価基準>																
授業態度や課題状況などを加味しながら4段階評価(優・良・可・不可)にて評価する。																
<使用問題集・注意事項>																
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>																

授業科目名	プレゼン演習	備 考
回	授 業 内 容	
1	企画の目的とは	
2	企画の相手は誰を考える	
3	情報を集めて現状を分析しよう	
4	相手の現状を知ろう	
5	企画課題って何なのか	
6	企画のアイディアの出し方	
7	企画のアイディアの出し方 演習	
8	企画のコンセプトとは	
9	企画をどうやって具体的に施策するのか	
10	企画書の目的（誰が、何のために読むのか）	
11	企画書にストーリーを盛り込む	
12	思わず読みたくなる企画書とは	
13	演習問題：企画書を作ってみよう①	
14	演習問題：企画書を作ってみよう②	
15	プレゼンの本質と全体(3つの具体的手段)	
16	プレゼンの本質と全体(目と耳に訴える要素)	
17	プレゼンの類型(目的別・課題別・人数別)	
18	学びのフレーム(相手に何を伝えるのか「主張」)	
19	学びのフレーム(どう資料にするのか「分析と主張」)	
20	学びのフレーム(どう話し、どう見せるのか)	
21	学びのフレーム(自信を持ったプレゼン法とは)	
22	学びのフレーム(プレゼンの山場とは何か)	
23	学びのフレーム(「山場」を決めるためにどうするか)	
24	学びのフレーム(プレゼンはエンターテインメントだ)	
25	学びのフレーム(エンターテインメントとは何か)	
26	学びのフレーム(まとめ)	
27	プレゼンの技術(資料作りの技術)	
28	プレゼンの技術(ストーリーを作る技術)	
29	プレゼンの技術(プレゼン資料と調査レポートの比較)	
30	プレゼンの技術(ストーリーの構成要素)	
31	プレゼンの技術(ストーリーの基本構造)	
32	プレゼンの技術(「分析」と「主張」の中身)	

(学) 九州総合学院
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
2022年度 授業シラバス

回		備 考
33	プレゼンの技術(ストーリー作りの「行動」と「思考」のパターン)	
34	プレゼンの技術(キー・ファインディングスとは)	
35	プレゼンの技術(作業の順番についての原則と実際)	
36	プレゼンの技術(考えがまとまらない時のコツ)	
37	プレゼンの技術(枚数が多くなってきた時のコツ)	
38	プレゼンの技術(ラフストーリーの構造例)	
39	プレゼンの技術(ラフストーリーのブラッシュアップ方法)	
40	プレゼンの技術(ストーリーにおける結論の位置「前」か「後」)	
41	プレゼンの技術(結論が「前」のパターンの特徴)	
42	プレゼンの技術(結論が「後」のパターンの特徴)	
43	プレゼンの技術(接続詞の技術「よく使われる接続詞」と意味)	
44	プレゼンの技術(ストーリー作成時の表紙やタイトル・目次)	
45	プレゼンの技術(ページを作る技術「基本レイアウト」)	
46	プレゼンの技術(ページを作る技術「山場ページのレイアウト」)	
47	プレゼンの技術(ページを作る技術「Z型アイ・フロー」)	
48	プレゼンの技術(ページを作る技術「1行当たりの文字数」)	
49	プレゼンの技術(ページを作る技術「ボックスと矢印」)	
50	プレゼンの技術(ページを作る技術「数字」)	
51	プレゼンの技術(ページを作る技術「キーワード」)	
52	プレゼンの技術(ページを作る技術「ビジュアル・エイド」)	
53	プレゼンの技術(ページを作る技術「フォントや色数・文字サイズ」)	
54	プレゼンの技術(ページを作る技術「グラフやアニメーション」)	
55	プレゼンの技術(ページを作る技術) 演習	
56	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」・「雰囲気」)	
57	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」・「雰囲気」) 演習	
58	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」)	
59	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」) 演習	
60	話す・見せる技術(時間配分とタイムキーピング)	
61	話す・見せる技術(緊張対策・質疑応答対応)	
62	プレゼンテーションのコツ①(プレゼンの狙い)	
63	プレゼンテーションのコツ②(プレゼンと企画書の説明の違い)	
64	プレゼンテーションのコツ③(プレゼンの構成要素)	
65	プレゼンテーションのコツ④(プレゼン用のスライド作成)	
66	プレゼンテーションのコツ⑤(プレゼンターの話し方)	

(学) 九州総合学院
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
2022年度 授業シラバス

67	プレゼンテーションのコツ⑥(リハーサルの必要性)	
68	演習問題：プレゼンをやってみよう（鹿児島への観光客誘致案）	
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		